

佳作

夢の最優秀賞

福島県 会津若松市立二箕小学校五年 レディングトン 咲桜

私は、四年生の時から合奏部に入っています。そして、今年の七月七日に、吹奏楽コンクール会津支部大会が喜多方プラザというホールで行われ、私達合奏もそれに出場しました。

私が最初、合奏部に入った時は、フルートを担当していましたが、四年生の終わりが、ピッコロ担当に変わりました。全く音がでない状態から始め、沢山の練習を重ねました。だんだんなれてくると、今度はコンクールの曲でソロを吹く所が出てきました。ピッコロは、楽器の中でも、とても音が高くてひびき、目立つ音を出す楽器です。まちがえると、すぐに聞こえてしまいます。ですから、沢山のプレッシャーを感じます。なので私は、ひたすら練習を続けました。特に、ピッチを取る練習を沢山しました。時には、フルートの講師の先生と一対一でレッ

スンしたり、週に一度フルート教室に通ったり、とにかく自分の出来ることをして、がんばりました。大会が近くなると、毎日のように部活があり、毎回注意され、落ちこんだりもしました。でも、そのおかげで前よりずいぶん上手になって大会の日をむかえられたと思います。そして、いざコンクール当日の本番、思っていた以上に、今までにない位きんちようしました。実際に演奏が始まり、ソロが近づいてくると同時に、心ぞうがバクバクしましたが、音もまちがえずに変な音もでなくて、無事演奏することが出来たので、大満足の成功でした。でも、ソロの後もまだ、沢山の出演があったので、気をゆるめてはいけませんでした。きんちようはしましたが、ソロの時よりは、だいぶ落ちついて演奏することが出来ました。

その後、みんなの結果発表を聞きました。成績は、プログラム一番から発表されていききました。どの学校もみんなドキドキしていて、不思議な空気でした。結果は、私たちは、金賞を受賞することが出来ました。それもうれしかったですが、一番みんながこだわっていたのが最優秀賞でした。私達は、最優秀賞を取れるのは行仁小学校だと思っていました。なぜ

なら、行仁小学校は毎年、東北大会に出場していたからです。けれど、最優秀賞を取った学校はなんと私達一箕小学校でした。本当にうれしかったです。そして、行仁小学校に勝てたのは、本当にしょうぎ的でした。この時私は、とてもつらい練習をひたすら続けたかいがあったと改めて思いました。

私は、今回、最優秀賞が取れた事は本当に心からうれしい経験でした。本当に感動しました。そしてこの経験から、つらくても絶対にあきらめないで最後までやりとげると良い結果が出る、あきらめないでがんばることが大切だと思いました。これからも、何事もあきらめないでがんばりたいです。